

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き

(2022年9月調査)

1. 業況判断

9月調査では、製造業は小幅改善した一方、非製造業は悪化したため、全産業では▲6と前回調査から▲6ポイント悪化した。前回調査では改善、水準は2を予測していた。

製造業・・・電気機械が「良い」超幅を縮小した一方、はん用・生産用・業務用機械が「良い」超に転化したため、全体では▲9と前回調査から1ポイントの改善となった。前回調査では、水準は5を予測していた。

非製造業・・・卸・小売が「良い」超のまま横這いとなった一方、宿泊・飲食・対個人サービスや運輸・郵便が悪化したため、全体では▲2と前回調査から▲10ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は0を予測していた。

先行き(2022年12月予測)は、製造業は悪化、非製造業は改善を予測しており、全産業では▲7と▲1ポイントの悪化を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2022年度(計画)は、製造業は前年度比6.3%の増収、非製造業は同1.8%の増収となり、全産業では同4.1%の増収計画。

前回調査との比較では、非製造業(修正率0.0%)は不変であったものの、製造業(同1.9%)が上方修正され、全産業では1.0%の上方修正となった。

(2) 経常利益

2022年度(計画)は、製造業は前年度比▲24.0%の減益、非製造業は同▲1.9%の減益となり、全産業では同▲18.5%の減益計画。

前回調査との比較では、非製造業(同5.2%)は上方修正されたものの、製造業(修正率▲8.6%)が下方修正されたため、全産業では▲4.9%の下方修正となった。

3. 設備投資額（含む土地投資額）

2022年度（計画）は、製造業で前年度比 88.8%の増加、非製造業は同▲62.7%の減少となり、全産業では同▲21.1%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率▲6.7%）、非製造業（同▲1.1%）とも下方修正されたため、全産業では▲4.8%の下方修正となった。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業、非製造業ともに「不足」超幅が拡大したため、全産業でも「不足」超幅が拡大した。先行き（2022年12月予測）は、「不足」超幅のさらなる拡大を予測。

以 上